

経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県公立小浜病院組合 小浜病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	D透I訓ガ	救 臨 感 へ 災 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	32,339	-	第2種該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

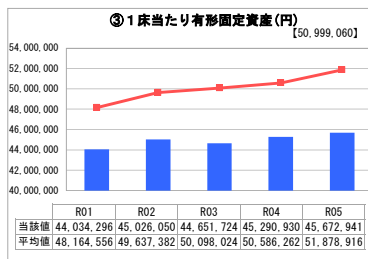
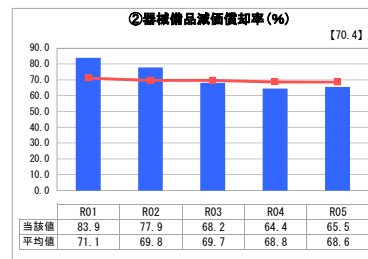
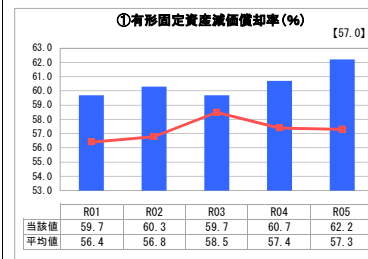
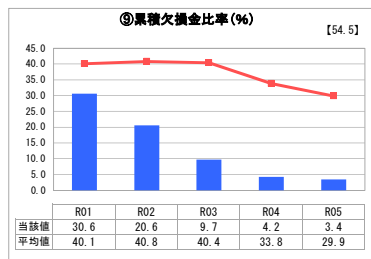
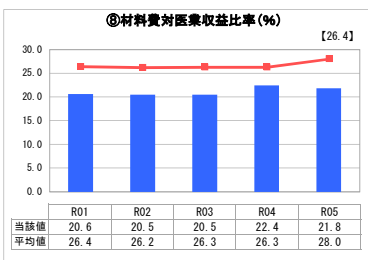
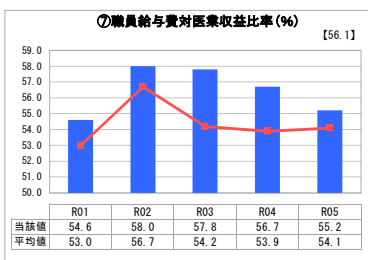
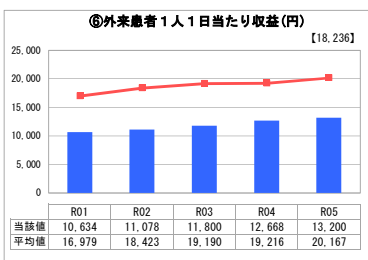
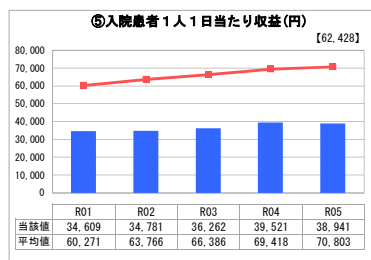
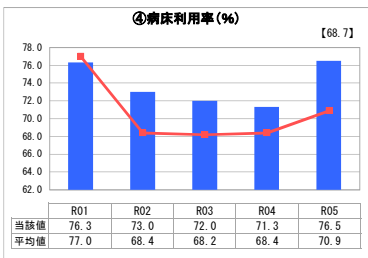
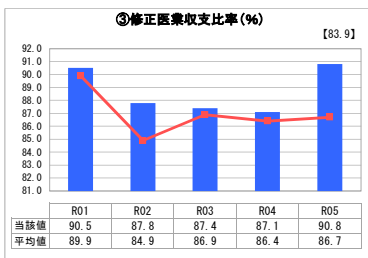
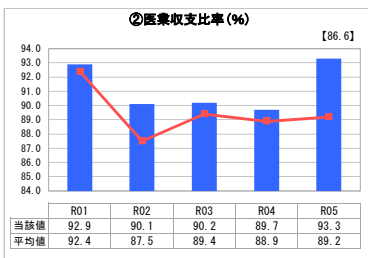
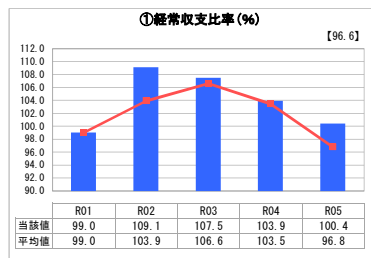
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
296	50	8
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	2	456
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
268	42	310

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

福井県唯一の総合病院であり、救命救急センターとして救急医療を担い、高度急性期から急性期、回復期、慢性期病床と感染症、結核、精神科まで、幅広い医療提供体制を確保している。また、新興感染症への対応や小児、周産期、災害、へき地医療など地域における医療提供体制を維持している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④病床利用率で示すとおり入院患者数増により収益が増加し、②医療収支比率は93.3%と前年度より改善。結果、新型コロナウイルス関連の補助金が減少する中、①経常収支比率は100.4%とわずかながら100%を上回った。
②医療収支比率④病床利用率はコロナ前水準の令和元年度並みに回復し類似病院平均値を上回っているが、⑦職員給与費対医療収益比率では類似病院平均値を下回っており、さらなる医療収益の増加、適切な職員配置等が必要な状況である。

2. 老朽化の状況について

高額医療機器の更新を中長期的な計画のもと進めており、②器械備品減価償却率は減少してきている。
医療機器以外においても計画的な更新を進めているが、有形固定資産全体では①有形固定資産減価償却率で示すとおり62.2%と類似病院平均値と比較しても高く、老朽化が進んでいる状況となっている。

全体総括

近年の経営収支比率改善は国・県からの新型コロナウイルス関連の補助金による影響が大きかった。令和5年度は入院患者数の増加があり、経営収支比率は100%を上回り黒字を維持した。しかし、厳しい状況であることは変わりなく、今後も収益確保、費用削減の取り組みが必要である。

令和5年度には「経営強化プラン」を策定した。経営の効率化を進めるべく経営指標、医療機能、地域連携の強化等に係る数値目標を定め計画的な病院運営に取り組んでいく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県公立小浜病院組合 レイクヒルズ美方病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	別	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	13,137	第2種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

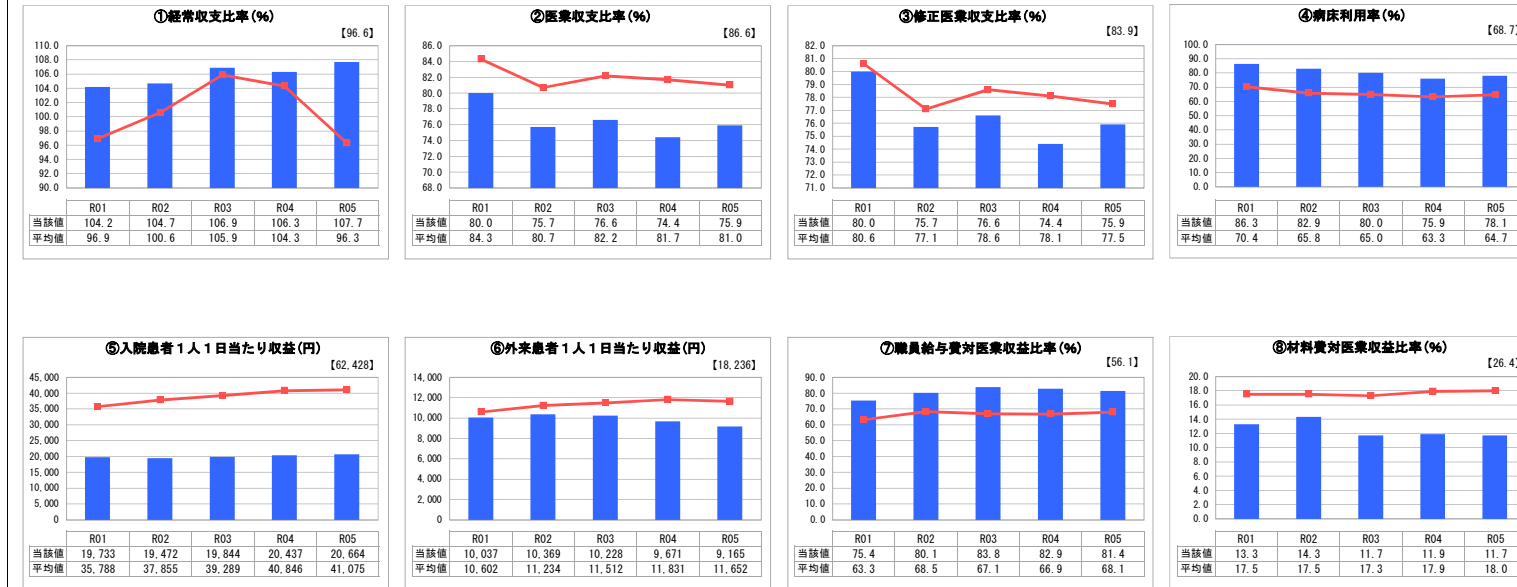
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	58	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
37	58	95

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワークを尊重)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

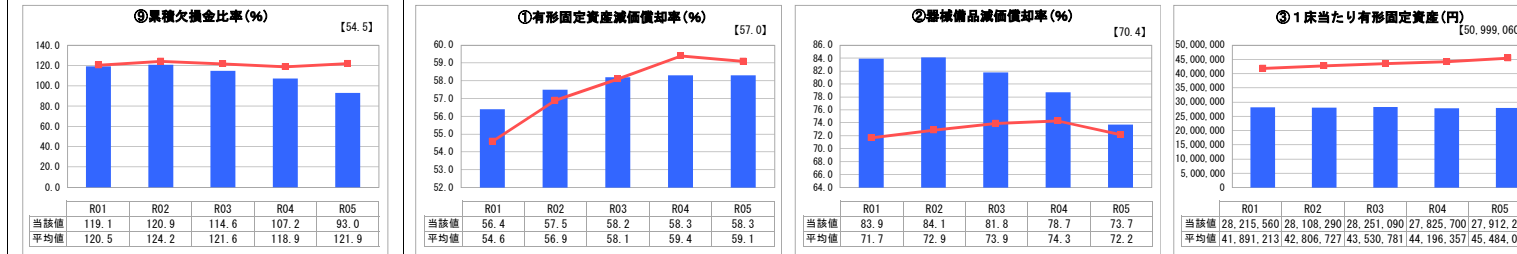
I 地域において担っている役割
 一次医療圏内で唯一入院機能を有する病院として当院の果たす役割は重要なものである。今後も地域包括ケアシステムの中で有用な役割を果たすには、回復期・慢性期の入院機能の維持が必要である。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
 平成31年2月から一般病床の一部を地域包括ケア病床としたこと等から、入院患者1人1日当たり収益が徐々に増加し5年度は20,664円となり昨年度を上回った。病床利用率も若干ではあるが昨年度を上回ったことで医業収支比率、経常収支比率ともに改善した。

2. 老朽化の状況について
 器械備品減価償却率が73.7%であり、年々下がってはいるが医療機器等の老朽化に変わりはない。今後も計画的な機器や設備の更新が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括
 令和5年度は入院患者数、1人1日当たりの収益ともに増となり、医業収益が昨年度より上回った。給与費も若干ではあるが抑制でき、材料費ともに医業収益比率は前年度より改善した。引き続き医業収益の確保とともに、給与費、経費等の抑制を進めることで、医業収支比率の向上に努めたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。